

# タヒチヌイトラベル発

TAHITI NUI TRAVEL

タヒチプチ情報

2015年1月23日発信

イアオラナ！現地旅行社タヒチヌイトラベルが発信する、タヒチのプチ情報です。



今週はポウヴァナア・ア・オオパ通りの並木「マルマルの木」ご紹介。

写真はパペーテの大統領官邸に向かう大通りです。

この長い通りの名前…。タヒチの歴史では有名な人物の名前です。

少し読むのが難しい名前ですが、彼は昔植民地であったこの地に自治権を！と訴え続けたヒーローなのです。

さて、気になるマルマルの木。その幹は非常に丈夫で、テーブルや階段などの家具にも用いられることが多い木です。

生まれは南米ですが、タヒチにも運ばれ、パペーテで最初に作られたのがこの並木道だといわれています。

マルマルと呼ぶのはどうやらポリネシアだけのようです。

この木は世界各国で見られます。この木何の木？という歌が昔ありましたが、実はコレなんですね。

正式名モンキーポッド 学名アルビジア サマーン 通称名として「レインツリー」とも呼ばれます。

この木で樹液を取る昆虫たちの体液が、雨のようにサラサラと降りそそぐのが由来。

えっ？空に雲がないのにあめ？そんな小雨を感じるのは虫たちの仕業かもしれません。

無害で決して汚いものじゃないのでご安心を。

タヒチは雨季を迎えています。

南国らしく、晴れの間に突然スコールが来ますので、携帯雨具は必ずお持ちください。

一年で一番暑い季節となりますが、風が強いと肌寒く感じることもあります

タヒチでも日本の様に、自然の力を感じさせられる魅力的な時期でもあります。